

みなさまへ

第8回 学術集会のテーマは、「DXによる国際・地域連携リプロダクティブ・ヘルス」です。高齢化の進展により、ここ10年間入院患者数は徐々に減少しており、高齢者の再入院を予防し、看取りを行う時代になっており、疾病の治療から看取りに向けた地域連携は構築され、病床数の削減についての政策が検討されています。

一方で、少子化につきましては、出産前後で助産師と一部の自治体の保健師が関与していましたが、プレコンセプションケアや感染症の予防について医療職の地域連携の在り方は課題となっております。このような背景から、現状の看護師の働き方にとらわれず、自治体、医療施設、学校、職場において、限られた資源である医療職がどのように連携したら良いのかを考える機会としたいと思います。

なお、今回の学術集会は、内容が公衆衛生看護に関連しており、日本公衆衛生学会と日本地域看護学会の後援をいただいております。みなさま、お誘い合って、どうぞ、ご参加ください。

順天堂大学大学院医療看護学研究科

教授 飯島 佐知子